

第5学年1組 社会科学習指導案

日 時 平成29年11月16日(木)

対 象 男子13名, 女子18名, 計31名

指導者 教諭 外崎 正義

教諭 斎藤 朝子 (ICT 支援)

1 小単元名『情報産業とわたしたちの暮らし』(東京書籍5年下)

2 小単元の目標と評価規準

- 放送などの情報産業が国民の生活に大きな影響を及ぼしていることや、情報産業を通じた情報の有効な活用が大切であることを理解するとともに、情報産業の発展に関心を持ち、情報を有効に活用しようとする。(関心・意欲・態度, 知識・理解)
- 我が国の情報産業の様子から学習問題を見出し、統計、写真などの資料やインターネットなどを活用して調べたことを、ノートなどにまとめるとともに、放送などの国民生活とを関連付けて思考・判断したことを、適切に表現する。(思考・判断・表現, 観察・資料活用の技能)

社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	観察・資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> ・放送などのマスメディアを通して、情報を提供している産業や情報化した社会の様子と国民生活とのかかわりに関心を持ち、意欲的に調べている。 ・情報産業の発展や社会の情報化の進展に関心を持ち、情報を有効に活用しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・放送などのマスメディアを通して情報を提供している産業や情報化した社会の様子と国民生活とのかかわりについて、学習問題や予想、学習計画を考え表現している。 ・情報産業の様子や情報化した社会の様子と国民生活とを関連付けて、情報化の進展は国民の生活に大きな影響を及ぼしていることや、情報の有効な活用が大切であることを考え、適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料やインターネットを活用したり、聞き取り調査をしたりして、我が国の情報産業や情報化した社会の様子について必要な情報を集め、読み取っている。 ・調べたことを図表やノートにまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・放送、新聞などの産業と国民生活とのかかわりを理解している。 ・情報化した社会の様子と国民生活とのかかわりを理解している。 ・情報化の進展は国民の生活に大きな影響を及ぼしていることや情報の有効な活用が大切であることを理解している。

3 小単元について

(1) 学習指導要領との関連

本単元は、学習指導要領社会科第5学年の目標及び内容(4)アを受けて設定した。

目 標

- (2) 我が国の産業の様子，産業と国民生活との関連について理解できるようにし，我が国の産業の発展や社会の情報化の進展に関心をもつようにする。
- (3) 社会的事象を具体的に調査するとともに，地図や地球儀，統計など各種の基礎的資料を効果的に活用し，社会的事象の意味について考える力，調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにする。

内 容

- (4) 我が国の情報産業や情報化した社会の様子について，次のことを調査したり資料などを活用したりして調べ，情報化の進展は国民の生活に大きな影響を及ぼしていることや情報の有効な活用が大切であることを考えるようにする。
- ア 放送，新聞などの産業と国民生活のかかわり

(2) 小単元の特徴

学習指導要領では，本単元の取扱いについて，

「放送，新聞などの産業と国民生活とのかかわり」を調べるとは，日常の生活や産業における情報手段や情報の利用の様子を取り上げ，放送，新聞などの産業と国民生活とのかかわりを具体的に調べることである。ここでは，近年の情報化の進展に伴い，我が国ではテレビやラジオ，新聞，電話，コンピュータなどの様々な情報手段が普及していることや，人々は放送や新聞などの産業が発信する情報を日常の生活や産業活動の多方面で活用し，様々な影響を受けていることなどを取り上げることが考えられる。

としている。今日の社会では，様々な情報手段が普及することによって様々な情報を得ることができる。これらの情報化の進展が国民生活の向上や産業の発展に大きな役割を果たしている。また，情報化した社会において主体的に生きていくためには情報を有効に活用することが大切であることを考えるとともに，様々な情報を適切に収集・判断し，望ましい行動をしようとする能力や態度を身に付けることが大切である。

以上のことから，これらの情報を，人々が日常の生活や産業活動においてどのように入手しどのように生かしているのかを具体的に捉え，目的によって情報手段を利用する力と，自らの判断で情報を有効に活用しようとする力を身に付けさせることが大切であると考えられる。

(3) 教材化の工夫

テレビやインターネットなどの情報手段が発達した現在でも，ラジオの役割は大きいと言える。特に，コミュニティラジオ放送局は，生活に身近で地元の情報を中心に放送しているため情報を有効に活用しやすいこと，防災や災害時の情報手段として優れていることなどがあるからである。

そこで，弘前市にある「FMアップルウェーブ」を教材の中心に取り上げて，「番組が放送されるまで」ならびに「情報の有効活用」について調べさせていきたい。

「FMアップルウェーブ」は，基本理念を「地域の活性化」「市民情報の共有化」「地域の防災」とし，平成11年に設立されたコミュニティFM放送局である。この放送局が，弘前市周辺の情報を伝える大きな役割を果たしていることを捉えさせたい。放送局で働く人々が，取材・編集・

機械機器担当者・コンピュータ管理・営業などの役割を分担して、正確な情報を伝えようとしていること。地域をよりよいものにするために働いている人の工夫や考え方にふれることで、情報を発信する側に求められる役割や責任の大きさに気付くことができるようにしたい。また、自分たちの住む弘前市の放送局を取り上げることによって、社会的事象と自分とのかかわりを深く認識したり、情報の有効活用について主体的に考えたりすることができる。

「FMアップルウェーブ」を聞いている弘前市周辺の住民が、日常の生活や産業活動において、必要な情報をどのように生かしているのかなどについて具体的に調べることによって、情報の有効活用について理解が深まると考え学習単元を構成する。

4 児童について

(1) 日常の様子より

本学級の児童は、日頃から様々な学習に意欲的に取り組んでいる。授業においては、進んで課題に取り組み、自分の考えを発表する姿が見られる。また、児童がお互いにわからないところや疑問に思ったことを聞いたり、教え合ったりする姿も見られるようになってきており、友達と共に課題を解決していこうとする気持ちが育ってきている。社会科の学習を楽しみにしている児童も多く、意欲的に資料を読んで調べたり、自分の言葉でまとめたり学習感想を書いたりしている。一方で、社会科が「難しい」「得意ではない」という苦手意識をもつ児童もいる。社会科の難しい用語を覚えたり、資料をじっくり読み取ったり、文章で表現したりすることを苦手とするためと考えられる。

(2) 意識調査の結果から (H29.10.2)

質 問	◎	○	△
1 社会科の学習は好きである。	77%	23%	0%
2 社会科の学習が得意だ。	50%	47%	3%
3 自分の考えを発表している。	54%	40%	6%
4 資料から調べたことをノートにまとめることができる。	60%	37%	3%
5 感想に自分の考えを書くことができる。	73%	24%	3%
6 1日にラジオをどのくらい聞きますか？	3時間以上 0%	1～3時間 20%	聞かない 80%
7 情報を送ったり、受け取ったりする方法で知っている方法を書いてください。(人数) ・テレビ (15) ・インターネット (13) ・新聞 (12) ・ラジオ (9) ・メール (9) ・スマホ (7) ・電話 (4) ・ライン (3) ・手紙 (2) ・タブレット端末 (1)			
8 情報を得ることが多い方法は何か。 ・テレビ (22) ・インターネット (13) ・新聞 (7) ・スマホ (4)			

・ラジオ（３） ・辞典（２） ・ゲーム機（２） ・タブレット端末（１）

9 生活の中で必要だと思える情報はどんな情報ですか。

・天気予報（１９） ・災害情報（１０） ・ニュース（７） ・政治（３）
・犯罪（２） ・事故（２） ・Ｊアラート（１）

10 情報についてどう考えますか。

・大切なもの（１１） ・便利なもの（１１） ・必要なもの（４）
・いろいろなことを調べたり知らせたりできる（４） ・人の命を守る（１）
・インターネットなどはその情報もあるから信用できないこともある（１）

（考察）

様々なメディアに関する知識は比較的多くもっている。情報に関しては、天気予報や災害情報に対する意識が高いことが分かる。ただし、交通情報や行政からの情報、イベント情報など日常生活の場面で活用できる情報に関してはまだ知識が少ない。これからの学習を通して、情報の有効な活用の考え方を広げていくようにしたい。

5 指導に当たって

（１）これまでの実践より

児童はこれまでに、実物や写真、地図帳、分布図などを手がかりに学習してきた。みんなの考えを出し合って問題を解決していく学習に対しては、多くの児童が興味をもって取り組み、意欲的に学習している。また、自分の意見を、資料を提示して根拠を明確にして説明できる児童もいる。考えをもっていなくても、友達の意見を聞き、友達のよさを認め、自分の考えの参考にしようとしている。

グラフの読み取りをする学習では、定着に時間がかかった児童もいたが、かかっている事実は読み取ることができるようになってきている。しかし、意識調査より自分の読み取りに自信をもてず、資料から調べたことをノートにまとめることに抵抗感のある児童がまだ多くいる（意識調査４）。これは、資料から事実を読み取ったことから社会的事象の意味を考えることを苦手としているからだと思われる。

学級全体を見てみると、一人一人の学力に差がある学級であり、社会科に関する基礎的・基本的な知識の理解、資料の活用など、基礎基本の定着に時間がかかる児童が多い。

以上の実態から、学習の抵抗感をなくし、学習内容の確実な定着を図るために、ICTを活用しながら学級全体で学び合える授業を通して、学ぶ喜びを実感し主体的に取り組む児童を育成していきたい。

（２）研究主題とのかかわり

○ 研究主題

学ぶ喜びを実感し主体的に取り組む子どもの育成
ーユニバーサルデザインの視点を生かした授業づくりを通してー

○ 各学年共通のテーマ

「焦点化」「視覚化」「共有化」の視点を生かした「わかる」「できる」「楽しい」授業にするた

○ 目指す子どもの姿

- ・情報産業や情報化した社会の様子と自分たちの生活とのかかわりについて、興味・関心をもち、意欲的に追究することができる子ども
- ・統計資料や写真、動画などを読み取ることで、情報化の進展が国民生活の向上や産業の発展に大きな役割を果たし、情報を有効に活用することが大切であることを理解し、自分の生活と関連付けて考えることができる子ども
- ・集団の中で互いに考えたことを発表し合い、相互に関連付けながら、自分の言葉でまとめ学び合う子ども

(3) 授業のユニバーサルデザインの視点

① 児童の課題意識を焦点化した授業づくり

地域にあるコミュニティFM放送局を教材化し、授業を展開していくために以下の手立てをとる。

一つ目は、単元計画の工夫である。本単元の学習は、FMアップルウェーブが地域を取材している様子や番組を放送している様子の画像や写真等を用いて、放送局に対する児童の興味・関心を高める。さらに、「FMアップルウェーブではどのようにして番組をつくっているのだろうか」「わたしたちは放送局が伝える情報を、どのようにして生かしているのだろうか」という学習問題を考え学習計画を立てる。学習の流れを明確にすることで、児童が見通しをもって主体的に学習できると考える。

二つ目は、学習課題の設定である。児童の課題解決に対する意欲を高め、課題を解決する必然性が生じるような学習課題を設定したいと考える。本時では、「FMアップルウェーブのラジオ占有率とラジオを聴いている人の割合のグラフ」を提示し、「自分たちはあまりラジオを聞いていないけれど、FMアップルウェーブを聞いている人たちの理由は何なのか」という課題意識をもたせることで、課題解決に向かわせたい。

② 教材の視覚化をはかる授業づくり

統計資料、グラフ、写真などの視覚的資料を、視聴覚機器などを効果的に活用することで、資料の中で注目する部分や解説する部分を指し示すことが可能となり、児童が資料を読み取る力を伸ばし、考えを深めることに役立つと考える。

特に本単元は見学や直接的な体験活動が難しい。そこで、イメージ化しやすいよう画像や動画の活用を積極的に取り入れている。視覚的で分かりやすい教材を活用しながら説明することで、児童の学習に対する興味・関心を喚起し、意欲的に学習に取り組むことができ、理解が深まると考える。

本時では、タブレットで配付した音声資料（「FMアップルウェーブのラジオ視聴」（番組を編集した音声資料））を繰り返し聞いて調べたり、ラジオの番組表（「FMアップルウェーブの番組表」）を活用したりするなどの工夫をすることによって、より効果的な視聴覚情報にする。どのような内容が放送されているかラジオ番組を聞いて調べたり、番組表の見たいところを大きくしたりして、1つ1つの資料をしっかりと読み取っていくことを通し、FMアップルウェーブを聞く人たちが生活に必要な情報を活用するために聞いていることを丁寧にとらえることができる。と考える。

③ 理解の共有化を図る授業づくり

本単元では、学び合いにおいて、どうしてそう考えたのか、児童の考えのよりどころを確実にし、調べたことの共通点を重ね合わせて、グループで考えをまとめながら、新たな認識に導いていきたい。

- 【共有化①】 FMアップルウェーブを聞いている理由の予想を相互交流することで、児童の課題解決に対する意欲を高め、学習課題をつかむ。
- 【共有化②】 3～4人のグループで資料を分担して読み取り、調べたことをベン図の要素を含んだXチャートで相互交流することによって、FMアップルウェーブの番組内容をグループで確かめながらまとめる。
- 【共有化③】 児童が個別に調べたことを分類・整理してまとめることによって、情報の活用の仕方について、4つの視点の共通点をグループで考えながら、FMアップルウェーブを聞く理由をまとめることができる。

○ 提案事項

- ① タブレットを使った資料提示の仕方を工夫することによって、効果的に課題解決を進められるのではないか。(視覚化)
- ② ベン図の要素を含んだXチャートを使って、グループでそれぞれの視点の共通点を考えることによって、情報を有効に活用できることに気づき、理解を深めることができるのではないか。(共有化)

6 指導・評価の計画（6時間扱い）

時	○学習活動 ・内容	評価規準・評価方法
問 題 把 握	1 ○大震災が発生したとき、FMアップルウェーブがどのようにして情報を伝えたかを知る。 ○速く、正確に情報を伝えることができた理由を話し合う。	・大震災発生時のFMアップルウェーブの放送を通して、情報を提供している産業と国民生活の様子に関心を持ち、意欲的に調べている。 【関心・意欲・態度】(ノート・発表)
	2 ○FMアップルウェーブでは、弘前市の情報をどのようにして伝えてきたかを話し合う。 ○FMアップルウェーブを聞いてみる。 ○情報を伝える人の工夫や願い、もっと調べてみたいことなどを考え、学習問題をつくる。 ・学習問題を考える。	・放送などのマスメディアを通して情報を提供している産業と国民生活とのかかわりについて学習問題や予想、学習計画を考え表現している。 【思考・判断・表現】(ノート・発表)

FMアップルウェーブではどのようにして番組をつくっているのだろうか。わたしたちは放送局が伝える情報を、どのようにして生かしているのだろうか。

		<ul style="list-style-type: none"> ・学習計画を立てる。 ①放送局の番組のつくり方 ②調べること ③調べ方 ④まとめ方 	
問題追究	3	<ul style="list-style-type: none"> ○FMアップルウェーブのニュース番組がどのようにしてつくられているかを調べる。 ○放送局で心がけていることを調べる。 <ul style="list-style-type: none"> ・スタッフの人数と役割 ・放送・取材の様子 ・アップルウェーブの人の話 ・情報を送る側の責任 	<ul style="list-style-type: none"> ・FMアップルウェーブで働く人々は役割分担をしたり時間を意識して放送したりなど、さまざまな工夫や努力をしていることを進んでまとめている。 <p style="text-align: right;">【技能・表現】（ノート・発表）</p>
	4 本時	<ul style="list-style-type: none"> ○自分たちと大人がFMアップルウェーブの情報をどれくらい聞いているか比較し、どのようにラジオの情報を利用しているのか調べる。 <ul style="list-style-type: none"> ・弘前市のニュースや天気情報 ・弘前市の交通情報 ・弘前市のイベント情報 ・災害時の避難所の紹介 ・ラジオで聞く防災ハンドブックマップ 	<ul style="list-style-type: none"> ・FMアップルウェーブを聞く理由を、多くの地元情報を放送していることの視点からとらえ、情報の有効な活用ができることを理解している。 <p style="text-align: right;">【知識・理解】 （ワークシート・ノート・発表）</p>
	5	<ul style="list-style-type: none"> ○他のメディアでもラジオ局と同じように、工夫や努力をして情報を収集したり、発信した情報に責任をもったりして、その情報を速く、正確に、わかりやすく伝えていることを調べる。 <ul style="list-style-type: none"> ・スタッフの人数と役割 ・放送・取材の様子 ・コマーシャル 	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビ局でもラジオ局と同じような工夫や努力をしていることを理解している。 <p style="text-align: right;">【知識・理解】（ノート・発表）</p>
振り返り	6	<ul style="list-style-type: none"> ○ノートを見て、これまで学習してきたことを振り返って発表し合う。 ○情報の生かし方について、自分の考えをノートにまとめ発表し合う。 ・FMアップルウェーブでもインターネット配信やSNSで情報を発信している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報産業の発展に関心をもち、情報を有効に活用しようとしている。 <p style="text-align: right;">【関心・意欲・態度】（ノート・発表）</p>

7 本時の学習（4／6）

（1）目標

FMアップルウェーブを聞く理由を、多くの地元情報を放送していることの視点からとらえ、情報の有効な活用ができることを理解することができる。

（2）展開

学 習 活 動	・指導上の留意点 ◆評価 ☆支援
<p>1 自分たちとFMアップルウェーブを聞いている人たちのグラフを読み取り、学習課題をつくる。《提案事項①》</p> <p style="text-align: center;">【資料1】（電子黒板）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちはテレビの天気予報やニュース番組を聞いている。 ・自分たちはラジオをほとんど聞いていない。 ・テレビのほうがぱっと見てわかるのに、何でFMアップルウェーブを聞いているのかな。 <p>2 学習課題をつくる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>FMアップルウェーブを聞いている人たちが、たくさんいるのはなぜだろう。</p> </div> <p>3 FMアップルウェーブがたくさんの人たちに聞かれている理由についてグループで予想し、発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テレビを見られない人がいるから。 ・テレビでは放送しない情報を放送しているから。 ・弘前市のことをたくさん放送しているから。 <p>4 FMアップルウェーブが放送しているラジオ番組を調べる。ラジオ番組を4つの視点に分けた資料をグループで分担して一人1～2つの視点を調べていく。《提案事項②》</p> <p style="text-align: center;">【資料2】（タブレット）</p> <p>(1) 地域の話題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やさしい日本語で伝えるくらしの情報（高齢者や外国人の方に向けて） ・弘前市の地域の話題 <p>(2) お天気・交通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弘前市の天気情報 ・弘前市の交通情報 <p>(3) 観光・祭り・イベント情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さくら祭り（祭りの中継・駐車場情報） ・ねぶた祭り（祭りの中継・インタビュー） 	<p>・資料1「FMアップルウェーブのラジオ占有率とラジオを聴いている人の割合のグラフ」</p> <p>・自分が大人ならどんな情報を知りたいと思うか考えさせることで課題への意欲を高めさせる。</p> <p>【共有化①】</p> <p>・グループで予想をたてることによって、課題解決に対する意欲を高め、学習課題をつかむ。</p> <p>・資料2「FMアップルウェーブのラジオ視聴」（番組を編集した音声資料）</p> <p>・資料3「FMアップルウェーブの番組表」</p> <p>【共有化②】</p> <p>・調べる視点をグループで分担し、自分の担当を決めることで、調べることを焦点化する。</p> <p>・調べたことを付箋紙に書かせ、ワークシートに貼らせる。</p> <p>☆付箋紙に書けない児童がいた場合、調べていることを確かめながら、一緒に聞いてわかったことを短い言葉で書くよう声がけする。</p>

(4) 緊急情報

- ・火災情報
- ・知っておこうあなたの町の避難所

【資料3】(タブレット)

○番組表

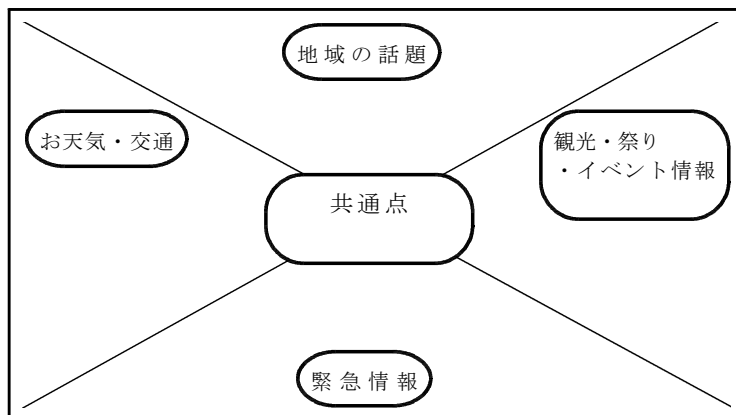
- ・今日の給食, お魚情報, 野菜, 果物の情報もある
- ・天気予報やニュースが1日に何度も放送されてる
- ・今週のお花情報やみみより情報という番組がある
- ・ラジオで聞く防災ハンドブックという番組がある

5 グループで調べた結果を発表し合い, 共通点を話し合い, ラジオを聞く理由をまとめる。《提案事項②》

【グループのワークシート】(A3のワークシートに貼る)

【グループのワークシートは撮影して電子黒板で発表】

(タブレット・電子黒板)



6 全体で4つの視点を調べた結果や共通点を発表し合い, 交流する。

- ・FMアップルウェーブは, 一日中弘前市に関する役立つ情報を放送している。
- ・決まった時間に弘前市の天気や交通情報, 駐車場情報を放送している。
- ・テレビでは全国の内容を放送することが多いけれど, FMアップルウェーブは弘前市のことをたくさん放送している。

7 本時にわかったことをまとめる。

FMアップルウェーブを聞いている人がたくさんいる理由は, 弘前市の地元情報をたくさん放送しているので, 情報を活用することができるからだ。

- ・自分の調べが終わった児童には, 友達を手伝って他の視点も調べさせる。

- ・調べ終わったら, Xチャートに合わせて共通点やFMアップルウェーブを聞く理由をグループで考えることを伝えておく。

- ・4人グループを6つ, 3人グループを2つ作る。

【共有化③】

- ・4つの視点の共通点をグループで考えながら, FMアップルウェーブを聞く理由を考える。

- ◆FMアップルウェーブを聞く理由を, 多くの地元情報を放送していることの視点からとらえ, 情報の有効な活用ができることを理解している。

(ワークシート, ノート, 発言)

【知識・理解】

- ・グループのワークシートは撮影しておく。授業後に印刷して各自のノートに貼る。

<p>8 FMアップルウェーブの丹代香子さんのお話を聞く。 (電子黒板)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・弘前市周辺の情報を伝え、地域をよりよいものにするために働いている人の話を聞くことで、考えを確かにさせる。
<p>9 本時のわかったことをもとに振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弘前市のことを知りたいときは、FMアップルウェーブを聞くといい。 ・友達の調べたことを聞いて、情報を活用することの大事さが少しわかりました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめの内容を意識させながら、振り返らせる。

(3) 板書計画

